

## 設計書の進化 編

## 状態遷移表の見易さ向上

状態遷移表セルが種別ごとにマーク表示ができるようになりました。ドキュメントとして印刷する場合、白黒印刷でも、セルの種別をマークにより識別できます。



図 1 セルのマーク表示

## 初期状態の条件

状態遷移表の初期状態を状況によって変えるために、デフォルト状態に条件がつけられるようになりました。トリガイベントに比べて状態遷移表の大きさを変えずに初期状態を変えることができます。



図 2 トリガイベントでモデリング

図 3 初期状態の条件でモデリング

トランスレータの進化

設計書としての文章に、スペースや記号を記述することができるようになり、自然な文章で記述ができるようになりました。設計文章を英文で記述することもできます。

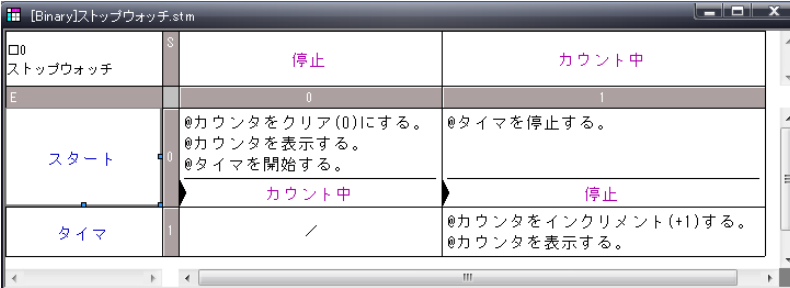


図 4 設計文章の記述

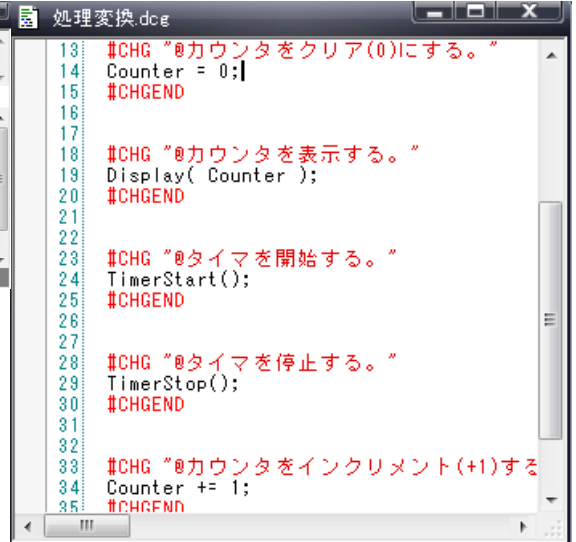


図 5 トランスレータ定義

条件式の手段を実装段階で定義

状態遷移表で、セルの条件分岐の表記を変えずに、生成コードの条件分岐を IF 文または SWITCH 文で生成することができるようになりました。実装での実現手段を設計時に考慮する必要がなくなりました。

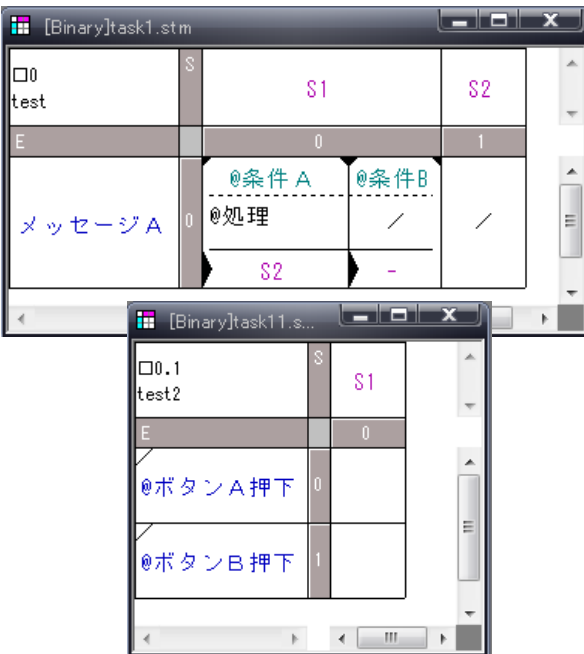


図 6 条件セルの設計書表記

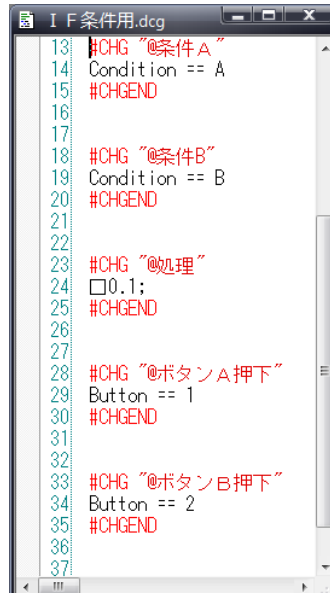


図 7 IF 変換



図 8 SWITCH 変換